

平成 2 1 年度

港湾空港局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 1 年度港湾空港局予算要求総括表 1
- 2 平成 2 1 年度港湾空港局経営方針 3
- 3 重点的に取り組みを行う主なもの 4
- 4 事務事業の見直し等 1 2

1 平成21年度港湾空港局予算要求総括表

【一般会計】

平成21年度要求総額 7,203,299千円
 (平成20年度予算額 6,912,463千円)
 前年度比 +4.2%

《主な事業》

単位：千円)

事業名	平成21年度 予算要求額 (A)	平成20年度 予算額 (B)	増 減 (A - B)
国直轄事業負担金	2,379,000	3,209,000	830,000
北九州港港湾計画改訂	72,300	50,000	22,300
北九州空港アクセス 鉄道基本調査	20,000	20,000	0
北九州空港アクセス 推進事業	260,000	260,000	0
市民参加による魅力 的な水際線づくり	286,300	354,800	68,500
北九州港開港120 周年記念事業	40,000	1,780	38,220
旧大連航路上屋改 修事業	171,000	13,400	157,600
川代泊地環境対策事業	20,000	175,000	155,000
モーダルシフト推 進補助事業	30,000	10,000	20,000
陸上電力供給施設 整備事業	77,219	0	77,219
港湾施設維持管理(長 寿命化)計画策定事業	61,318	0	61,318
臨海部産業用地貸付特 別会計貸付金	918,159	0	918,159

【港湾整備特別会計】

平成21年度要求総額 10,761,245千円
 (平成20年度予算額 12,042,000千円)
 前年度比 10.6%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成21年度 予算要求額 (A)	平成20年度 予算額 (B)	増減 (A - B)
ターミナル稼働安定化事業	140,000	150,000	10,000
北九州港利用促進補助	60,150	67,000	6,850
響灘東埋立地整備事業	409,000	536,500	127,500
響灘西埠頭用地整備事業	131,000	136,000	5,000
新門司埠頭用地整備事業	90,000	100,000	10,000
太刀浦埠頭用地整備事業	177,000	0	177,000

【空港関連用地整備特別会計】

平成21年度要求総額 9,637千円
 (平成20年度予算額 103,000千円)
 前年度比 90.6%

【臨海部産業用地貸付特別会計】

平成21年度要求総額 1,139,072千円
 (平成20年度予算額 189,500千円)
 前年度比 601.1%

2 平成21年度港湾空港局経営方針

港湾空港局では、平成19年度から平成22年度までの4年間に、次に掲げる三つの目標を達成することを経営戦略として、毎年度の事業実施に取り組んできたところである。

平成21年度は、北九州市経営プラン(H21~H25)における集中取組期間(H21~H22)であることから、下記の経営方針に基づき、最小の経費で最大の効果が発現できる施策を、主要施策と位置付け、重点的に取り組むこととする。

(1) 21世紀のものづくりを支える物流拠点都市づくりの推進

・都市基盤としての「みなと」の充実を図る

本市の財産である「北九州港」と「北九州空港」という、海と空の「みなと」の機能強化や充実を図るとともに、「環境モデル都市・北九州市」構築に向け、環境配慮型物流を推進する。また、企業立地に必要な基盤整備や公共交通の利便性の向上及び環境に配慮した公共交通体系の構築を目指す。

・北九州港における港湾需要の拡大を目指す

中長期的な物流振興施策の立案や事業調整を行い、地域経済の活性化、雇用の拡大、及び税収の確保を図る。

・北九州空港における航空需要の拡大を目指す

利用者及び関連事業の定着により航空需要の高さを示して、新規路線の開設を目指すとともに、羽田空港の再拡張工事による発着枠拡大(H22)に伴う増便を働きかける。

(2) 市民の憩う「みなとまちづくり」の推進

・市民が憩い、賑わう「みなとまちづくり」を推進する

市民が憩い、賑わう「みなとまちづくり」を推進するとともに、魅力ある世界の環境首都の実現に向けて取組みを進める。

(3) 効率的で安心安全な港湾経営の実現

・既存施設を有効活用し、コスト削減を図るとともに、効率的で安心安全な管理運営を目指す

港湾施設の整備・修繕に係るトータルコストを削減するとともに、臨海部の再編に取り組み、港湾空間の高質・高度化を推進する。

・港湾整備特別会計の経営安定化を図る

地価下落による資産価値減少のため、特会全体の実質収支は数年以内に赤字基調が見込まれるため、(仮称)経営健全化計画の進捗を図る。

3 重点的に取り組みを行う主なもの

2 1世紀のものづくりを支える物流拠点都市づくりの推進

北九州港・北九州空港における港湾・航空需要の拡大を目指し、北九州市の掲げる物流拠点都市づくりに向けた施策を実施します。また、併せて「環境モデル都市・北九州市」の構築に向けた環境配慮型物流の推進を提案します。

(1) 物流機能の充実強化

産業の国内回帰や国内設備の増設、アジア地域との経済交流の拡大等に対応するため、利用ニーズに即応した施設の整備を行うとともに、東西それぞれのコンテナターミナルの利用拡充を図るため、荷さばき地や背後地の整備を行う。また、国が行う新若戸道路の整備や北九州空港の整備事業について、地元負担を行う。

- 2 ・ 継続	・ 港湾改修（特重）事業	200,000 千円
- 2 ・ 継続	・ 響灘西埠頭用地整備事業（港湾特会）	271,000 千円
- 2 ・ 継続	・ 新門司埠頭用地整備事業（港湾特会）	90,000 千円
- 2 ・ 新規	・ 新太刀浦埠頭用地整備事業（港湾特会）	177,000 千円
- 2 ・ 継続	・ 国直轄事業負担金	2,379,000 千円
- 2 ・ 継続		
- 2 ・ 継続	・ 空港整備事業地元負担金	53,334 千円

(2) 環境にやさしい物流の推進

物流におけるCO2削減対策を推進するため、現行の「モーダルシフト推進事業」を拡充し、民間の物流改善の取り組みに対する支援を強化するとともに、接岸中の船舶のアイドリングストップを目的とした電力供給施設を整備する。

- 2 ・ 継続 ・ 拡充	・ 新モーダルシフト推進補助事業	30,000 千円
- 2 ・ 継続 ・ 拡充	・ 新物流改善トライアル輸送補助	
	・ 新CO2削減新規輸送サービス創出支援	
- 2 ・ 新規	・ 新陸上電力供給施設整備事業	77,219 千円

(3) 産業空間の創出

物流機能の強化と併せて、企業活動の拠点としての臨海部の積極的な利活用を推進し、企業ニーズに対応した産業用地の確保、環境に配慮した緩衝緑地の整備を行う。

- 1 ・ 継続	・ 港湾環境整備事業	282,000 千円
- 3 ・ 継続	・ 新門司埋立地造成事業（港湾特会）	224,600 千円
- 3 ・ 継続	・ 響灘西埋立地造成事業（港湾特会）	49,000 千円
- 1 ・ 継続	・ 響灘東埋立地整備事業（港湾特会）	409,000 千円

(4) 産業空間の快適性向上と防災対策の充実

災害に強い都市づくりを進めるため、臨海部における産業空間の快適性向上や防護に配慮した緑地整備、及び高潮等の災害から市民の生命や財産を守るための整備を実施するとともに、海岸保全区域の見直しを行う。

- 4 ・ 継続	・ 川代泊地環境対策事業	20,000 千円
- 1 ・ 継続	・ 港湾環境整備事業（再掲）	282,000 千円
- 3 ・ 継続	・ 海岸（高潮）事業	100,000 千円
- 1 ・ 継続	・ 海岸保全区域・港湾隣接地域指定事業	3,000 千円

(5) 廃棄物処分場の確保

- 4 ・ 継続	・ 廃棄物処理事業	10,000 千円
----------	-----------	-----------

廃棄物の適正処理のため、臨海部に廃棄物処分場を確保する。

(6) 都市基盤としての「みなと」の充実

- 2 ・ 継続	・ 北九州港港湾計画改訂事業	72,300 千円
----------	----------------	-----------

本市の経済の活性化、雇用の創出、市民に親しまれる港づくりを図るため、社会経済情勢の変化や市民・企業ニーズの変化に合わせて、策定から 10 年以上経過した港湾計画の見直しを行う。

(7) 総合的な物流施策の推進

社会状況の変化を捉えた先進的な物流システムについて調査研究を行い、物流企業のニーズに応えられる総合的な物流施策に取り組む。

- 1 ・ 継続	・ 物流拠点都市づくり推進事業	16,650 千円
----------	-----------------	-----------

新たに策定する北九州港長期構想や国の総合物流施策大綱の見直し等を踏まえて次期物流戦略の検討

を行う。併せて、物流基盤を活用した先進的物流システムの検討や人材育成を通じた地元物流企業の競争力向上等に取り組む。

(8) 北九州港の利用促進

北九州港の利用促進に向けた集貨・創貨、航路誘致などを促進する施策を実施する。

- 2 ・ 継続

・北九州港官民連携事業 15,201 千円

民間と協働して、荷主・貨物動向調査の実施、集貨対策委員会の運営、北九州港セミナーの開催など一体的、効果的なポートセールスを行い、北九州港の利用促進を図る。

- 2 ・ 継続

・ポートセールス事業 16,587 千円

国内外の荷動きや物流事業について情報収集を行い、北九州港への集貨・航路誘致を行う。特に、ひびきCTについては、ターミナルの特性を活かし、物流センターなどの誘致、CT利用を促進する集貨・航路誘致を行う。

- 2 ・ 継続

・北九州港PR事業 10,044 千円

北九州港を包括的・統一的にプロモーションするため、PRツールの充実、国内業界紙等への広告掲載により、船社、物流関連企業、荷主等への積極的な情報提供を行う。

- 2 ・ 継続

・北九州港利用促進補助事業（港湾特会）

60,150 千円

北九州港の利用を促す助成制度を設けることにより、広域的な集貨活動等を支援し、貨物取扱量の増加を図る。

- 2 ・ 継続

・ターミナル稼働安定化事業（港湾特会）

140,000 千円

新規港運事業者のひびきCTへの参入を促進するとともに、継続した利用と取扱量の増加を図ることで、ひびきCTの運営体制見直し後におけるターミナル稼働の安定化を図るため、助成制度を設ける。

- 2 ・ 新規

・**新**北九州港港湾施設保安対策事業

（SOLASフェンス改良費） 29,500 千円

利用船舶の大型化等に対応するため、黒崎2号岸壁などのSOLASフェンスの改良を実施する。

(9) 企業立地 (創貨) の推進

北九州港の利活用を促進し、雇用創出、地域経済の活性化を図るため、企業誘致活動を積極的に行い、臨海部産業用地への企業立地を推進する。

平成 21 年度は今後成長が見込まれる新エネルギー分野に注力するとともに、官民協働による企業誘致の取組みを展開する。また、企業ニーズに即した分譲区画の整備及び小規模の新土地リース制度を創設する。

- 1 ・ 継続	・ 企業誘致活動事業	14,525 千円
- 1 ・ 継続	・ 臨海部産業用地貸付事業	1,139,072 千円
- 1 ・ 継続	・ 響灘東埋立地整備事業 (港湾特会) (再掲)	409,000 千円
- 1 ・ 新規	・ 新 企業立地推進事業	3,000 千円

(10) 空港の利用促進・集客対策

北九州空港の利用促進・集客対策を図ることで、利用者の獲得・増加を目指すとともに、平成 22 年の羽田枠拡大時の東京路線の増便や新規路線の開設に繋げる。また、併せて空港利用圏域の自治体と連携した利用促進を図る。

- 2 ・ 新規	・ 新 北九州空港集客戦略事業	60,430 千円
- 2 ・ 継続	・ 北九州空港利用促進事業	21,432 千円
- 2 ・ 継続	・ 北九州空港利用促進協議会負担金	53,000 千円

(11) 新規空港路線開設のための誘致活動

国内路線は、北九州市における産業、商業等による旅客流動を分析し、既存路線の維持・新規地方路線の開設を目指す。また、平成 22 年の羽田枠拡張までは、新規路線に対し航空各社は慎重姿勢であるが、引き続き粘り強いエアポートセールスを展開する。

国際路線は、アジアのゲートウェイとして北九州空港が機能できるよう、韓国や台湾、香港への定期便就航に向け、誘致活動を展開する。

- 2 ・ 継続	・ 国際定期便化促進チャーター便事業	29,500 千円
- 2 ・ 継続	・ 北九州空港エアポートセールス事業	16,942 千円
- 2 ・ 新規	・ 新 北九州空港国際線誘致推進事業	68,460 千円
- 2 ・ 新規	・ 新 北九州空港航空ネットワーク推進事業	3,871 千円

(12) 航空貨物拠点化推進

24 時間運用、税関・検疫空港の指定など、北九州空港の特長を活かし、定期便やチャーター便によって国内外の航空貨物取扱いの実績を重ね、北九州空港が航空貨物の拠点として機能していくことを目指す。

- 2 ・ 継続	・ 北九州空港貨物拠点化推進事業	20,000千円
- 2 ・ 継続	・ 北九州空港エアポートセールス事業（再掲）	16,942千円

(13) 空港アクセスの利便性向上

現在、唯一の公共交通機関であるエアポートバスについて、より利便性の高いアクセスを提供する。

- 2 ・ 継続	・ 北九州空港アクセス推進事業	260,000千円
- 2 ・ 継続	・ 北九州空港高度化推進事業	14,200千円

(14) 北九州空港アクセス鉄道構想の推進

北九州空港へのアクセスの利便性を向上させるため、小倉都心部と空港とを直結する、定時性、高速性に優れるアクセス鉄道の整備を検討する。

- 2 ・ 継続	・ 北九州空港アクセス鉄道基本調査	20,000千円
----------	-------------------	----------

(15) 北九州空港の将来拡張、機能拡充に向けた検討

北九州空港の将来拡張、機能拡充に向け、北九州空港を取り巻く情勢の変化に伴い予想される航空需要の伸びを把握し、これらに対し切れ目なく対応していくための調査・検討を行う。

- 2 ・ 継続	・ 北九州空港高度化推進事業（再掲）	14,200千円
----------	--------------------	----------

(16) 空港島内の事業活性化

空港関連用地の分譲をすすめることで、空港関連用地への企業進出を促進し、空港島内の事業活性化を目指す。

- 2 ・ 継続	・ 空港関連用地維持管理	4,000千円
- 2 ・ 継続	・ 空港関連用地整備事業（特別会計）	3,125千円
- 2 ・ 継続	・ 北九州空港航空関連事業起業・誘致支援	66,798千円

市民の憩う「みなとまちづくり」の推進

(1) 効果的な港の振興・PR事業

- 4・新規 ・新北九州港開港 120 周年記念事業 40,000 千円
平成 21 年(2009 年)の北九州港開港 120 周年を記念し、
北九州港の更なる飛躍の契機となる記念事業を実施する。

(2) 魅力ある都市空間の創出

臨海部における都市の魅力を高める施設として、門司港レトロ
観光プランなどと連携する緑地整備を進める。

- 4・新規 ・新旧大連航路上屋改修事業 171,000 千円

(3) 市民参加による魅力的な水際線づくり事業(海辺のマスタープラン 2010)

計画策定から施設整備、利活用までの様々な段階で市民参加を
図り、多くの市民が訪れる魅力あふれる水際線づくりを推進する。

- 1・継続 ・港湾環境整備事業(再掲) 282,000 千円

- 1・継続 ・市民参加による魅力的な水際線づくり事業
4,300 千円

【成果指標】市民に親しまれる水際線整備延長 25 km
(平成 22 年度)

(4) 市民参加による洞海湾の環境修復検討事業

- 1・継続 ・市民参加による洞海湾の環境修復検討事業
4,200 千円

- 1・継続

- 4・継続

洞海湾において、ムラサキイガイを使った市民参加による環境修復体験教室を実施するとともに、市民が気軽に洞海湾に親しむことができる水辺環境の実現に向けて、干潟の活用や藻場造成などの新たな環境修復手法の検討を進める。

【成果指標】洞海湾における環境修復活動の参加人数
1,000 人/年(平成 22 年度)

効率的で安全安心な港湾経営の実現

(1) 計画的かつ効果的な港湾施設整備・維持補修の実施

港湾施設の効率的な運営を行うため、維持管理計画を策定するとともに適切な整備・修繕を実施する。また、施設を有効活用するため、限られた経費を集中的に配分のうえ、中長期的な視野に立った取組みを実施することにより、維持管理に係るトータルコ

ストを削減する。

- 3 ・ 継続	・ 港湾改修（統合補助）事業	408,000 千円
- 3 ・ 新規	・ 港湾施設安全対策事業	61,509 千円
- 3 ・ 継続	・ 港湾施設営繕費	226,565 千円
- 3 ・ 新規	・ 新 港湾施設維持管理（長寿命化）計画策定事業	61,318 千円
- 3 ・ 継続	・ 機能施設維持費（港湾特会）	517,852 千円

（ 2 ） 既存港の効率化推進・機能強化

ひびきCTを含めた北九州港全体としての利用促進を図るため、既存港の機能強化・振興策の実現に取り組む。また、港運業者などの埠頭利用者として設立した協議会で検討した施設の集約・転用を具体化し、既存の港湾施設の高度利用化を図る。

- 3 ・ 継続	・ 利用しやすい港づくり懇話会運営事業	401 千円
- 3 ・ 継続	・ 既存CT効率化推進事業	5,985 千円
- 3 ・ 継続	・ 既存施設の集約化促進検討協議会運営事業	1,984 千円

（ 3 ） 効率的で安全安心な施設管理運営の促進

業務運営の効率化と経費削減を図るため、IT化の推進を図るとともに、港湾施設の管理運営業務等の委託について、業務内容の見直しを図り委託のあり方等について検討する。また、安全安心な施設運営を図るため保安対策等を実施する。

- 3 ・ 継続	・ 港湾情報システム保守管理委託事業	51,096 千円
- 3 ・ 新規	・ 新 市情報システム再構築に伴う納付書等システム改修事業	1,344 千円
- 3 ・ 新規	・ 新 次世代シングルウィンドウに係る港湾情報システム改修事業	14,700 千円
- 3 ・ 新規	・ 新 AI S（船舶自動識別装置）の導入及びバース管理システムの改修事業	14,270 千円
- 3 ・ 継続	・ 北九州市港湾施設管理運営業務委託事業	119,266 千円
	（港湾特会）	29,607 千円
- 3 ・ 継続	・ ひびきコンテナターミナル管理運営事業（港湾特会）	388,780 千円
- 3 ・ 継続	・ 北九州港港湾施設保安対策事業（施設管理）	214,900 千円

(4) 港湾整備特別会計の収支状況の改善

港湾整備特別会計の収入強化を図るため、分譲及び貸付による企業誘致活動に取り組む。また、港湾整備特別会計の経営安定化を図るため、(仮称)経営健全化計画の進捗を図る。

- 1 ・ 継続	・ 臨海部産業用地貸付事業(再掲)	1,139,072 千円
- 3 ・ 継続	・ 港湾経営健全化事業	1,800 千円

4 事務事業の見直し等

(1) PR・セールス経費の見直し

北九州港のポートセールスにおいて、セールスツール作成経費、広告媒体・内容等を精査し経費節減を図る。

〔見直し額：5,718 千円〕

(2) 港湾施設営繕費の見直し

港湾施設の維持補修に係る経費について、日常的に発生する「補修」経費を確保したうえで、本来的な機能回復を図るための「修繕」については、対象箇所を集中・選択的に見直しを行うとともに、一部を22年度に実施することで、事業費を削減する。

〔見直し額：16,763 千円〕

(3) 港湾施設管理運営業務委託の見直し

港湾施設管理運営業務委託において、委託内容の見直し（業務従事者を2名削減）を行い、事業費の削減を図る。

〔見直し額：1,314 千円〕

(4) 各種調査経費の削減

臨海部における、再編・にぎわい空間創造の事業について、一体的に考えていく上で事業を統合し、事業費の削減を図る。

〔見直し額：3,200 千円〕